

平成23年3月20日

原子力安全・保安院

東京電力福島第一原子力発電所敷地内（事務本館北側）の 核種分析結果について

1. 東京電力が、3月19日の12時前後に、福島第一原子力発電所事務本館北側においてモニタリングカーにて空気中のダストを初めて採取して核種分析を実施。
2. その結果が20日に報告され、下表のとおり、放射性よう素、セシウム等の核種が検出されたことが判明。
3. 検出された核種のうち、濃度基準を超えたのは、よう素-131のみ。
4. この放射性物質を含んだ空気を吸入した場合には、内部被ばくを受けることになる可能性があるが、これまでに行われている作業では、全面マスク（チャコールフィルタ）、タイベックスーツ等の適切な放射線防護装備を使用しており、また、作業後に汚染検査を行っていることから、作業者の内部被ばくは充分低くおさえられるものとする。また、内部被ばくについての報告は、これまでに受けていない。
5. 引き続き核種分析を実施し、状況を確認していく予定。

検出された主な核種		放射能濃度 (Bq/cm ³)	放射線業務従事者の呼吸する 空気中の濃度基準 (Bq/cm ³)
揮発性	よう素-131	5.940×10^{-3}	1.0×10^{-3}
	よう素-132	0.220×10^{-2}	7.0×10^{-2}
	よう素-133	0.035×10^{-3}	5.0×10^{-3}
粒子状	セシウム-134	0.022×10^{-3}	2.0×10^{-3}
	セシウム-137	0.024×10^{-3}	3.0×10^{-3}

(本発表資料のお問い合わせ)

原子力安全・保安院

原子力安全広報課：渡邊、小山田

電話：03-3501-1505

03-3501-5890